

FUJITSU Software

Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携 V17.0.0

本商品は、Systemwalker Operation Managerと業務用パッケージ製品との連携を可能にするオプション商品です。業務用パッケージ製品とは、SAP社の SAP ERP (SAP ERP ジョブ連携機能)及び、Oracle社のOracle E-Business Suite (Oracle E-Business Suite ジョブ連携機能)です。Systemwalker Operation Managerと本商品を使用することにより、SAP ERPジョブ 及びOracle E-Business Suiteのコンカレントプログラムのスケジュールが可能になります。



- ・ サーバ

SPARC Servers / SPARC Enterprise Mシリーズ / SPARC Enterprise Tシリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / FUJITSU Cloud Service for SPARC

- ・ サーバ

Solaris 11(64bit)

1. SAP ERP ジョブの制御機能

以下の制御機能を提供します。

SAP ERP ジョブの登録/操作/監視

Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携を導入すると、Systemwalker Operation ManagerのアイコンパレットにSAP ERP 用アイコンが追加されます。このアイコンを利用し、Systemwalker Operation Manager クライアントからジョブの登録が行えます。

また、Systemwalker Operation Managerが管理する他のジョブと同様にSAP ERP ジョブを監視/操作(削除)をすることができます。

SAP ERP ジョブの出力表示

Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携では、SAP ERP システムが出力するXMIログを収集しており、Systemwalker Operation Managerのジョブ出力表示画面（前回履歴画面）にXMIログ情報を表示できるようになります。

SAP ERP ジョブの実績管理

SAP ERP システム上で起動したSAP ERP ジョブの稼動情報(終了状態、開始日時、終了日時、SAP ERP ジョブ名)をCSV形式で出力することができます。

SAP ERP ジョブ操作API

Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携では、SAP ERP ジョブのXMIログの自動取得、正常/異常終了判定機構の提供など、SAP社のインターフェイスを使用しただけでは簡単に利用できない各種のサービス機能があります。

これらの機能も含めて、外部プログラムから簡単に利用できるように以下のAPIを提供します。

- ・ SAP ERP ジョブ起動(XMIログの自動取得、正常/異常終了判定機構を含む)
- ・ SAP ERP ジョブ状態表示

2. SAP ERPジョブのログイン情報管理

SAP ERP システムは、独自のユーザ管理を行っているため、WindowsやSolaris、Linuxにログインするための情報だけではログインすることができませんが、Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携では、ユーザの登録を行い、簡単にSAP ERP ジョブを操作することができます。

3. EBS(*)コンカレントプログラム制御機能

*) EBS : E-Business Suite

以下の制御機能を提供します。

コンカレントプログラムの起動機能

ジョブとして登録された任意のコンカレントプログラムを自動起動します。この際、起動ユーザ名、職責、プログラムに渡す任意のパラメタ等も制御します。

コンカレントプログラムの状態監視機能

起動したコンカレントプログラムの状態を監視し、実行の終了を同期的に待ち合わせ、Systemwalker Operation Managerによる監視画面にリアルタイムに反映します。

コンカレントプログラムの状態異常通報機能

起動したコンカレントプログラムが、何らかの原因（コンカレントマネージャ停止、プログラム使用禁止操作など）により起動不可能な状態に陥っている場合、業務遂行に支障があるため、その管理者に通報します。

コンカレントプログラムの終了状態の取得

コンカレントプログラムの実行が終了すると、処理が正常に行われた否かなどの情報として、終了ステータス（正常、警告、エラー、強制終了、取消しなど）を取得し、ジョブの終了コードに反映します。

これにより、Systemwalker Operation Managerにおいて、”異常終了”を一目に認識することが可能となり、また終了コードによる分岐処理等も可能となります。

コンカレントプログラムの実行ログの取得

コンカレントプログラムの実行が終了すると、Oracle E-Business Suite内で管理されている実行ログを取得し、Systemwalker Operation Managerの監視画面（前回履歴画面）に表示します。

これにより、業務が異常終了した場合などに、エラーの原因などが記録されている実行ログを即時に参照することができます。

4. EBSアクセス制御機能

以下の制御機能を提供します。

DB接続ユーザの管理

コンカレントプログラムを起動するには、OracleDBへ接続するためのユーザ認証情報（APPSユーザのパスワード情報）が必要であり、これを管理します。

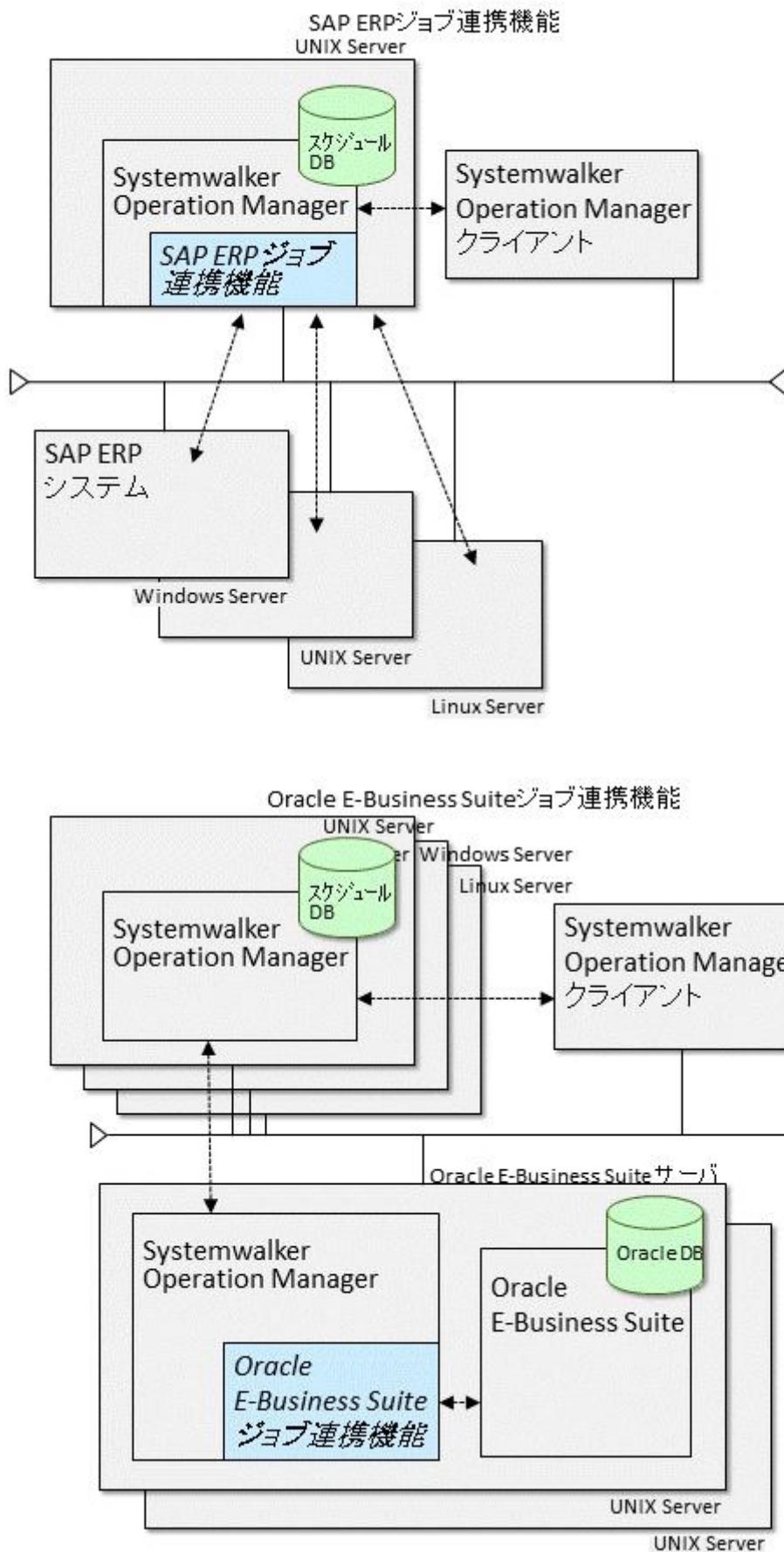
コンカレントプログラム起動可能ユーザの管理

Systemwalker Operation Managerの利用可能ユーザすべてが、コンカレントプログラムの制御ができてしまうことはセキュリティ上問題があります。コンカレントプログラムの制御が可能なユーザを管理し、不当にコンカレントプログラムが起動されてないようにします。

5. セールスポイント

- ・SAP ERP または、Oracle E-Business Suiteによって構築された業務システムを、通常の一般バッチジョブと同様の操作で、簡単に自動運転を実現することができます。
- ・スケジュール管理、実行状況監視等を集中して行えるため、SAP ERPジョブ、Oracle E-Business Suite内の業務（コンカレントプログラム）及び、他の業務との連携も簡単です。
- ・SAP ERPジョブ 及び、Oracle E-Business Suite内の業務（コンカレントプログラム）の実行ログを取得し、Systemwalker Operation Managerの監視画面で参照できるので、業務が異常終了した際に簡単にログを確認することができます。
- ・Oracle E-Business Suite内の業務（コンカレントプログラム）が何らかの原因で起動できない状態（無効状態）に陥った場合、管理者にその旨通報する機能を備えているため、業務異常や業務遅延の影響を極力少なくすることができます。
- ・SAP ERPジョブ 及び、Oracle E-Business Suite内の業務（コンカレントプログラム）のみでなく、サーバの電源切断、オンライン業務プロセスなども含めたトータルな自動運転ができます。

システム/機能構成図



V16.0.0からの強化項目は以下のとおりです。

1. 新規環境への対応

クラスタ環境

Oracle Solaris Cluster 4.4に対応いたします。

2. 連携製品の追加

SAP ERPジョブ連携機能において、SAP S/4 HANAに対応いたします。

- ・オンラインマニュアル

- ・Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携ガイド SAP ERP編
- ・Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携ガイド Oracle E-Business Suite編

【メディア】

- Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携 メディアパック (64bit/32bit) V17.0.0

【ライセンス】

- Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携 プロセッサライセンス (1年間24時間サポート付) V17

本商品のライセンス製品には、初年度の「SupportDesk Standard」がバンドルされています。

購入方法

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体（DVD）のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。また、商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。バージョンアップ／レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

2. プロセッサライセンスについて

(1) プロセッサライセンスの購入について

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下のとおりに必要となるライセンスです。

・シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサ（CODモデルの場合はCPU RTUライセンスを持つ1稼働CPU）あたり1本の購入が必要です。

・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

-SPARC M12/M10では、CPUコアアクティベーションキーにより有効化されたコアの総数に特定の係数を乘じます。

-SPARC Enterprise/PRIMEPOWERのCODモデルでは、CPU RTUライセンスを持つ稼働CPU上のコアの総数に特定の係数を乘じます。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「FUJITSU Software（ライセンス）」内、「富士通製ミドルウェア商品のライセンス体系について」を参照ください。

3. V13.3.0以降からのバージョンアップ／レベルアップについて

以下の商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「Support Desk」のサービスの一環として、最新バージョン／レベルを提供いたします。（お客様からのご要求が必要です。）

「Support Desk」を導入されていない場合は、新バージョン／レベル商品を改めてご購入頂く必要があります（価格の優遇はございません）のでご注意ください。

なお、「Support Desk」の詳細については、弊社営業/SE にお問合せください。

〔V13.3.0以降からのバージョンアップ／レベルアップ対象商品〕

- Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携 V13
- Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携 V16

4. クラスタ運用時の購入方法について

運用待機形態の場合、運用系ノード、待機系ノードを合わせて1システムと見なし、1システム毎に購入が必要です。（待機系ノードのライセンスは不要です。）

運用待機形態以外の場合は、ノード数分の購入が必要です。

5. ダウングレード使用（旧バージョン商品の使用）について

本商品のライセンスでは、ダウングレード使用（本商品の旧バージョンを使用）する権利はありません。対象のバージョンを使用する場合は、対象のバージョンに対応したライセンスをご購入ください。

6. 購入時の特約事項

ライセンス使用条件の特約事項について記載します。

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ(以下「運用系コンピュータ」といいます)と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ(以下「待機系コンピュータ」といいます)により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、ライセンス条件説明書の第1項「基本的なご使用方法」第(1)号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、ライセンス条件説明書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) オープンソースソフトウェア等のライセンス条件

本製品のうち、富士通が別途定めるオープンソースソフトウェア等(以下「OSS」という)については、ライセンス条件説明書に加えて、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件が適用されます。ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件にライセンス条件説明書と異なる定めがある場合は、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件の定めが優先して適用されるものとします。

(3) オープンソースソフトウェア等に関する保証の範囲

ライセンス条件説明書記載の第4項「共通事項」第(5)号「保証の範囲」の定めにかかわらず、対象プログラムのソフトウェア説明書に特定されたOSSに関して富士通がお客様に対して負う責任は、ライセンス条件説明書記載の第4項「共通事項」第(5)号「保証の範囲」a.およびb.に限られるものとします。

本号に定める責任を除き、富士通はOSSについて一切の保証を行わず、またOSSの使用に伴い生じる損害や第三者からの請求等について一切の責任を負わないものとします。

7. 購入例

以下に示すシステム構成の場合、購入対象商品と購入数は下記のようになります。

[システム構成1]

サーバ(2コア、2CPU構成):2台

サーバ(2コア、1CPU構成):2台

[対象製品と購入数]

- Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携 メディアパック (64bit/32bit) V17.0.0

(必要数分)

- Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携 プロセッサライセンス V17 (2コア×2CPU×コア係数)
×2台分 + (2コア×1CPU×コア係数)×2台分

[システム構成2]

サーバ(2コア、2CPU構成):クラスタ運用2台

サーバ(2コア、1CPU構成):2台

[対象製品と購入数]

【運用待機形態の場合】

- Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携 メディアパック (64bit/32bit) V17.0.0

(必要数分)

- Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携 プロセッサライセンス V17 (2コア×2CPU×コア係数)
×1台分 + (2コア×1CPU×コア係数)×2台分

【運用待機形態以外の場合】

- Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携 メディアパック (64bit/32bit) V17.0.0

(必要数分)

- Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携 プロセッサライセンス V17 (2コア×2CPU×コア係数)
×2台分 + (2コア×1CPU×コア係数)×2台分

1. SAP ERPジョブ連携を利用する場合

以下のいずれかが必要です。

- SAP ERP 6.0 (*)

* コンポーネントは NetWeaver 7.0/7.3/7.4/7.5である必要があります。

- SAP S/4 HANA (*)

* コンポーネントは NetWeaver 7.5である必要があります。

2. Oracle E-Business Suite ジョブ連携を使用する場合

以下が必要です。

-Oracle E-Business Suite R12

なし

留意事項

1. 64bit環境での動作について

64bit環境において、以下の通り動作します。

- SAP ERPジョブ連携

64bitバイナリで動作

- Oracle E-Business Suite ジョブ連携

32bitバイナリで動作

2. 対応するSystemwalker Operation ManagerのV/L

本製品はオプション製品であり、以下のいずれかのソフトウェアが必要です。

- Systemwalker Operation Standard Edition V13.4.1以降

- Systemwalker Operation Enterprise Edition V13.4.1以降

- Systemwalker Operation Manager Global Enterprise Edition V13.4.1以降

なお、IPv6通信環境(「SAP ERP ジョブ連携機能」のみ対応)を使用する場合の運用時の注意事項はSystemwalker Operation Managerの注意事項に準じます。Systemwalker Operation Managerのソフトウェアガイドの「留意事項」をご覧ください。

3. 前版との違いについて

以下の環境については、サポート対象外となります。

- Solaris 10 (サーバ動作OS)

お客様向けURL

- FUJITSU Software (Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携)

製品概要や動作環境、導入事例、価格等、製品紹介資料を幅広く提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/systemwalker/for-erpjob/>

- FUJITSU Software (インフォメーション&ダウンロード)

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>